

クローナリティー

解析(イヌ)の改良 その2



イヌのクローナリティー解析が再改良されましたので、ご案内します。2012年8月の改良により、Tリンパ球のモノクローナルな増殖(腫瘍性増殖)の検出率が改善しました。一方、Bリンパ球は当初より高い確率で検出が可能でしたが、稀に検出できない症例が存在することがあります。当社では稀な症例を拾い上げるために、イタリアの研究者から発表された論文をもとに**新しいBリンパ球の検出法を導入**しました。**新規に導入した方法がクローナリティー解析に欠かせない**というデータが出ています。ご参照下さい。

新しい検出法で検出される症例の割合

1) **リンパ腫・リンパ性白血病の疑われた**122症例を用い、新規の検出法と従来の検出法を比較しました。検体には、リンパ節・肝臓・脾臓・血液・消化管・皮膚などが含まれます。

検査結果	割合(症例数)	
従来の方法でBリンパ球にモノクローナルな増殖が検出された症例	28.7 % (35)	60.7% (122)
新規導入した方法でBリンパ球にモノクローナルな増殖が検出された症例	3.3 % (4)	
T・Bの判別はつかないがリンパ球のモノクローナルな増殖が検出された症例	2.5 % (3)	
Tリンパ球のモノクローナルな増殖が検出された症例	26.2 % (32)	
異常が検出されなかった症例	39.3 % (48)	

(注)モノクローナルな増殖が検出された割合(60.7%)は、クローナリティー解析の感度(検出率)ではありません。解析に用いた122症例の中には、反応性過形成(リンパ節炎)などの症例が含まれます。感度(検出率)については、2)をご参照下さい。

2) 細胞診により**リンパ腫と確定診断のついた**24症例を用い、新規の検出法と従来の検出法を比較しました。

検査結果	割合(症例数)	
従来の方法でBリンパ球にモノクローナルな増殖が検出された症例	54.2 % (13)	100% (24)
新規導入した方法でBリンパ球にモノクローナルな増殖が検出された症例	4.2 % (1)	
T・Bの判別はつかないがリンパ球のモノクローナルな増殖が検出された症例	0 % (0)	
Tリンパ球のモノクローナルな増殖が検出された症例	41.7 % (10)	
異常が検出されなかった症例	0 % (0)	

(注)今回の解析では検出率が100%でしたが、実際にはリンパ腫であってもモノクローナルな増殖が検出できない症例が存在します。検出率に関するデータは随時、公表して行く予定です。

リンパ球系腫瘍が疑われた症例の3.3%、そしてリンパ腫と確定診断のついた症例の4.2%では、新規の検出法でのみBリンパ球のモノクローナルな増殖(腫瘍性増殖)が検出されました。この結果から、**新規導入したBリンパ球の検出方法は、クローナリティー解析には不可欠な方法**であると考えられます。

株式会社 ケーナインラボ

〒184-0012

東京都小金井市中町2-24-16

農工大・多摩小金井ベンチャーポート302

電話:042-401-2291(代表)

042-401-2294(検査室)

FAX: 042-382-7384

HP: www.canine-lab.jp E-mail: info@canine-lab.jp



検体集荷

株式会社 モノリス

〒182-0012

東京都調布市深大寺東町8-31-6

電話:042-443-7200(代表)

042-443-6181/6183(集荷)

FAX: 042-443-6182

